

Caduceus Information

カデューシャス 通信

Vol.18
(平成27年5月号)



当院屋上より撮影(photo 総務課 本間重規)



シンボルマークについて

当院のシンボルマークは、平和と医術の象徴であるカデューシャス (Caduceus) のつえを頭蓋骨穿孔器 (ずがいこつせんこうき) に置きかえ、ヘビの顔は世界を知る意味で外へ向けています。翼の下にある **脳** は脳神経外科 (Neurosurgery) のことを意味しております。

- ・就任ご挨拶
- ・院内安全管理研修会・患者誤認防止
- ・パーキンソン病研究センターのご紹介
- ・新任ドクター紹介
- ・スタッフ紹介

就任ご挨拶



院長 小柳 泉

院長の小柳です。2015年4月1日付けで、会田前院長から院長職を引き継ぎました。私は1981年に北大を卒業して、そのまま北大脳神経外科教室に入ったのですが、その時の医局長が会田先生でした。当院は、1983年に三森研自先生が開設され、翌年に北大脳神経外科の初代教授である都留美都雄先生を名誉院長としてお迎えしました。都留先生は、日本人で初めて米国の脳神経外科専門医の資格を取得された、日本の脳神経外科の草分けの一人です。三森先生は、都留先生の教えを受け継ぎ、北海道における脳神経外科の地域医療に全力を尽くされました。2002年に会田先生が2代目の院長として就任されました。会田先生は、2012年には病院の新築移転、回復期リハビリ病棟・障害者病棟の開設など、急性期病院としての機能のさらなる充実を実施しました。私は1996-2002年まで当院に6年間勤務し、札幌医大脳神経外科での10年間の勤務を経て、2012年4月に当院に復職しました。以前からの気心の知れた仲間たちがいることはとても心強いものでした。

さて、脳神経外科は、科名から脳の疾患のみを扱うと誤解されやすいのですが、実は、脊椎・脊髄・末梢神経を含めて、広く神経組織を扱う外科です。欧米のほとんどの脳神経外科の施設と同様に、当院でも多くの脊椎脊髄疾患の外科治療が行われています。また、血管内手術やナビゲーションシステム、神経内視鏡支援手術など、最新の脳神経外科手術も行われています。神経内科の緒方先生、輿水先生により、神経難病の診療体制も充実してきました。24時間の救急の受け入れから慢性期の管理まで行うことは大変なことです。病院スタッフは笑顔を忘れずがんばってくれています。私も、患者様の幸せのため、益々努力する所存です。皆様、よろしくお願いたします。



院内安全管理研修会・患者誤認防止

医療安全対策室 石黒竜二

当院では年に2回、医療安全管理委員会主催の院内安全管理研修会を行っており、平成26年度の第2回目が3月26日に開催されました。

今回のテーマは昨年度同様『当院におけるインシデント・アクシデントの実際—平成26年度の傾向と対策—』とし内容は平成26年1月から12月までに報告されたインシデント・アクシデント件数や事例、分析結果、対策などを「転倒・転落」・「その他」に関しては4階病棟舘山師長、「注射・内服」に関しては薬剤科黒畑科長から報告されました。

また「患者誤認防止対策」に関しても医事課石崎課長より講義がありました。



《患者誤認防止対策の取り組み》

医療安全対策室では昨年9月より患者誤認防止対策への継続的取り組みを行っており、本年度も引き続き院内研修、患者様向けポスターの掲示等、院内啓発活動を強化しております。

院内における患者様確認のルール

- ・患者様自身にフルネームで名乗っていただく。
- ・名乗れない入院患者様はリストバンドでの確認を行う。
- ・入院患者様に注射（点滴）を行う際は、電子カルテの注射認証システムを利用する。

患者誤認防止は、医療従事者はもちろんですが患者様、ご家族様のご理解とご協力があってできることです。

当院では色々な場面で、何度もお名前を名乗っていただくことがございますが、患者様の安全を守るためにもご協力をお願いいたします。

パーキンソン病 研究センターのご紹介



神経内科 副院長・センター長 緒方 昭彦

北海道脳神経外科記念病院は、脳神経外科と神経内科を中心に診療を行っている脳神経専門病院で、このような体制は欧米の病院でもよく見られます。歩行障害や一側の手足の動きが悪いといった自覚症状の場合、患者さんは脳卒中を心配し、脳神経外科を受診するケースが多いのですが、パーキンソン病のこともよくあります。当院では約300名のパーキンソン病の患者さんが通院され、最も適した治療方法を各スタッフと相談しながら進めています。パーキンソン病は神経内科で担当する疾患の中では認知症に次いで多く、日本では約20万人の患者さんが治療を受けています。早期診断による薬物治療やリハビリテーションは日常生活の改善に寄与するのみならず、今後の予後を決める上でも重要です。最近ではパーキンソン病の新薬の開発が多く、適切な薬剤治療を早期に行うことが大切です。我々の施設ではパーキンソン病の早期診断のための画像診断や生化学検査を進めております。

新任ドクター紹介

脳神経外科 千葉 泰弘(ちば やすひろ)

本年4月から北海道脳神経外科記念病院で勤務しております。脳神経外科14年目になりました。これまで脳卒中をはじめとした脳神経外科一般の治療に従事してきました。最近では脊椎・脊髄疾患や末梢神経障害を中心としたしびれ・痛みの治療分野に興味をもち、目下、勉強中です。これまでに経験してきたことを活かし、さらには発展させ、病院に少しでも貢献できるよう努めていきたいと考えております。よろしくお願いいたします。



スタッフ紹介



外来 看護師 山本 久美子

外来診療や救急外来を担当させて頂き、1年半が経とうとしています。外来では脳疾患・脊椎脊髄疾患・神経内科疾患の患者様や、初めての症状に不安を抱き来院される患者様、救急搬入される患者様など多くの方が受診されます。私達外来スタッフは患者様やそのご家族が、安心して安全な診療を受ける事が出来、円滑に生活を送ることが出来るようにお手伝いをさせて頂いております。外来という短い時間の中ではありますが、患者様一人一人と関わることで、病状や介護の不安を共有でき、より良い生活を送ることの大切さ・大変さを患者様から日々学ばせて頂いています。症状や病状、生活や介護に対する不安などについて、相談しやすい環境作りができるよう努力して行きたいと考えております。



4階病棟 看護師 八柳 彩子

私は入職2年目になります。昨年の今頃は緊張し、また早く一人前にならないといけないと思い、自分をとても追い込んでいたように思います。できなければ泣き、失敗しては泣いてという毎日を送っていました。しかし患者様へのケアや看護計画、夜勤業務など一年間で多くの経験は、私を大きく成長させてくれました。また4階病棟の先輩や看護助手の皆さんは、私に良く声を掛けてくれます。私が一年間頑張ってきたのは、温かい声掛けのおかげであり、言葉というものはとても大事なのだと気づかされました。この4月から4階病棟にも新しい職員が入ったので、元気が出るような声掛けをしていきたいと思えます。二年目も感謝の気持ちを忘れず、頑張っていきます



医療相談室 医療ソーシャルワーカー 加藤 真奈

昨年の9月から医療相談室で医療相談員として勤務しています。

入院患者様に限らず、ご家族や外来患者様など悩みを抱えている方々の相談にお応えしています。介護や経済的な問題など、入院生活を送りながら不安を抱えて過ごしている患者様やご家族に対して、介護保険制度などの利用できる制度について利用に繋げる支援を行っています。退院先や施設入所などの調整も行い、ご本人とご家族と相談しながら支援しています。皆様が安心して日常生活が送れるよう、地域連携も含め支援させていただきます。秘密は厳守いたしますのでご相談いただければと思います。



リハビリテーション科 作業療法士 今村 駿介

入社して3年目となりました。入社当初は急性期病棟のリハスタッフとして患者様と関わらせて頂きました。急性期病棟では発症直後の患者様が多く、主にベッドサイドでのリハビリが中心で状態の安定化や離床を目的として関わっていました。2年前より回復期病棟を担当してからは、患者様の生活場面に関わることが多くなり、退院後の生活を想定しながらのリハビリを行うようになりました。他部署と情報交換を行い、生活しやすい環境調整の話し合いや実際に家屋訪問にも行っています。

まだまだ試行錯誤の毎日ですが、患者様にとってより良いリハビリを提供し、笑顔で退院してもらえるように日々、精進していきたいと思っております。



放射線科 診療放射線技師 林 謙吾

放射線科では、診断に用いる様々な画像検査を行っています。かかる時間や体勢などが検査ごとに違いますので、検査開始前にタオルケットやクッションのご用意など、少しでも多くの患者様に、快適な検査を受けて頂けるように努めております。ご質問・ご要望等がございましたらお気軽にお尋ねください。

外来診療体制

外来担当医表

		月MON	火TUE	水WED	木THU	金FRI	土SAT				
							第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
午前	脳神経外科	会田青樹 今村	会田小柳 小笠谷	吉野柳	会田今村 本宮	会田青樹	今村青樹 寺坂	鏡谷小柳	会田千葉 長内	鏡谷小柳 長内	交代制
	神経内科	緒方	輿水	緒方水	輿水	緒方	休診	輿水	休診	休診	休診
	循環器内科	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~11:30)	野村 (10:00~12:30)	野村 (10:00~12:30)	休診				
午後	脳神経外科	会田青樹	小柳吉野	千葉	今村吉野 本宮 (15:00~17:00)	今村吉野 (14:00~16:00)	休診				
	神経内科	輿水		大槻方	輿水		休診				
	循環器内科		野村 (14:00~17:00)		野村 (14:00~17:00)		休診				

注)循環器内科、野村医師の診察は再来と紹介予約のみとなります

受付・診療時間

◆ 午前の診療

受付は、平日が午前8時40分から11時30分まで
(※土曜日は午前8時40分から12時30分まで)
診察は、午前9時より行います

◆ 午後の診療

受付は、午前11時30分から午後5時まで
診察は、午後2時より行います

- ① 診療予約は午前9時から午後5時まで、外来受付またはお電話でお受けいたします。予約のお申込み・お問い合わせは、原則受診希望日の前日までにご利用いたします。予約をされていない患者様も、従来通り診察を受けていただけます。
- ② 患者様の症状等によって診察の順番が前後したり、急患の対応等で診療開始時間が遅れることがありますのでご了承下さい。
- ③ 診療医師が不在の時は、他の医師が診察させていただきます。不在日は掲示板にてご確認ください。
- ④ 上記のほか、緊急手術等によりやむを得ず診療医師が変更する場合があります。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ④ 当院は24時間救急対応をいたしております。
お電話にてご連絡の上、ご来院下さい。(TEL:011-717-2131)

歯科

院内歯科では、外来はもとより入院中の患者様の治療も行っています。

診療時間

月・水・金	10:00~13:30	15:00~18:00
火・木	10:00~13:30	15:00~20:00
土	10:00~14:00	

休診日

第2・第4土曜日、日曜日・祝祭日

歯科直通

ナイナイムシバ
TEL&FAX:(011)717-1648

理念

1. 患者様第一を旨とし、患者様とご家族に安心と満足を提供致します。

基本方針

1. 分かりやすい医療情報を提供致します。
2. 病々・病診連携を推進致します。
3. 根拠に基づいた最新の医療を提供致します。
4. 24時間365日に救急医療体制を提供致します。
5. 健全な病院経営と効率化に努力致します。
6. 安全な医療を提供出来るよう職員の安全教育に努めます。

患者様の権利

私たちは患者様の権利を尊重します

1. 患者様の意志および人権は守られます。
2. 患者様は十分に納得出来るまで説明を受けることが出来ます。
3. 患者様は治療方法を選択することが出来ます。
4. 患者様は平等で適切な医療を受けることが出来ます。
5. 患者様の医療上の個人情報を守られます。
6. 検査、治療にあたっては、他の医療機関での説明を得る事(セカンドオピニオン)が出来ます。

Caduceus Information

私たち 北海道脳神経外科記念病院は、
脳・脊髄・末梢神経の疾患を
急性期からリハビリテーションまで
総合的に診る病院です。



交通アクセス

- ① 地下鉄南北線「北24条」駅から中央バス北72
または西51「南新川」下車
- ② 地下鉄東西線「二十四軒」駅からJRバス軒32
「八軒8条東4丁目」下車
- ③ 地下鉄南北線「さっぽろ」駅13番出口を出て右、
西武デパート跡地南側から中央バス西71「南新川」
または西51「北22条西15丁目」下車

医療法人社団 研仁会 北海道脳神経外科記念病院

〒063-0869 札幌市西区八軒9条東5丁目1-20 TEL.011-717-2131 <http://www.hnsmhp.or.jp>